

竹越與三郎 （存心） 史論家、政治家。慶應元年十月五日武藏國生れ、

昭和二十五年一月十一日没（六五—九五）。舊姓清野。號ニ又、ニ又

海雙、ニ又海雙、ニ又生、夢履、種海夢樓、鬼谷子、鬼谷隱士、竹越

ニ又、竹越夢履等。慶應義塾中退。可大阪公論』、可時事新報』を經

て可國民新聞』記者、明治二十九年雜誌『世界之日本』創刊主筆、三

十五年衆議院議員（當選五回）、大正十一年貴族院議員、昭和十五年

編纂編輯司。

譯著書、ウヰクトル、カウシン講説・ヲ、ダブリウ、ウエーネ米譯

『近代科學史論』總論 卷之一』（重譯、明治十七年五月丸善藏版）、可格

朗空』（編、昭和二十二年十一月七日民友社）、可マコウレー』（明

治二十六年八月）下、可民友社『拾貳文叢』（、可基督傳記』（明治

二十六年九月七日大坂・福音社）、可支那論』（明治二十七年八月）一

十七日民友社）、可先覺詞藻』（合著・進藤信義編、明治二十四年十

月十一日大阪鐘美堂書店・鐘美堂書店）、可洋學叢書』（明治二十五

年六月）二十八年開拓社）、可人民讀本（増補）』（十一版・明治二十

六年）二月）千白開拓社）、可ニ又演說集』（明治四十一年五月）二十六

日、可西望）、可南國記』（明治四十二年四月）二十四日、可織

田信長』（合著・小川多一郎編、明治四十四年五月十日隆文堂書店

「偉人研究」）、可讀書樓附誌』（大正二年四月十五日）二冊社）、可ニ

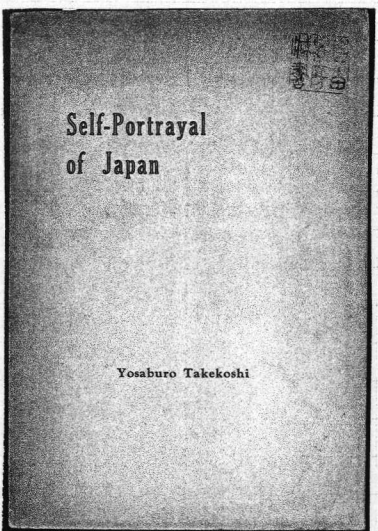
又文鈔』（大正七年二月）二十二年正午出版社假營業所）、可大正天皇

奉御講義集』（本多辰次郎 關根正樹 合著、昭和二年二月）二冊東京市教育局）、

可味覺極樂』（竹越ニ又各 合著・東京日日新聞社社會部編、昭和一

年十一月一日光文社）、可日本經濟史（改訂普及版）』（全六卷）第一

- 卷・昭和二年十一月二十日、第一卷・十一月十日、第二卷・四年一月十五日、第四卷・二月十五日、第五卷・三月十五日、第六卷・四月二十日、第九卷・「陶庵公」(昭和五年一月四日、普及版「陶庵公」西園寺ハ堂入簿)八年八月十二日(表文題)、「我が福澤先生」(合著・福澤先生研究会編、昭和五年四月十五日丸善株式會社)、「明日はど  
うなる」(昭和六年十一月二十日平九社)、「旅風裡の日本」(昭和八年八月一日)奇館出版部)、「明日はどようなる」(昭和十年五月五日三海書房)、「巻高収抹集」(昭和十年十一月二十日西倉書房)、「大川平三郎著傳」(編、昭和十一年九月二十日大川平三郎著傳記編纂會)、「日本の肖像」(昭和十二年十月五日揚社)、「武女道の記」(序論、金澤文二郎編、昭和十四年十一月二十日松文堂)、「二又小路」(昭和十五年五月二十日京都・奇館出版部)、「Self-Portrait of Japan」(昭和十五年十一月二十日國際報道)、「藝林會社)、「THE STORY OF THE WAKO. JAPANESE PIONEERS IN THE SOUTHERN REGIONS」(YOSABURO TAKEGOSHI'S Translated by HIDEO WATANABE (渡邊秀雄)・昭和十五年十一月二十日研光社)、「南國誌」(木村莊五郎題、昭和十七年一月二十日日本評論社「明治文化叢書」)、「讀書樓隨筆」(昭和十九年一月二十日日本雄辯會講談社)、「新日本歴史」全二冊(上巻)再版初序・昭和二十三年九月二十日、下巻・十月十五日東京タイムズ社)、「人民讀本」(西田毅解説、昭和二十二年



一月二十日慶應義塾福澤研究センター「近代日本史研究資料」等。